

2021年3月 第81号

ひとひと
女と男

きらめき

発行 沖縄市役所 市民部 平和・男女共同課
沖縄市男女共同参画センター〒904-0003 沖縄市住吉1丁目14番29号(3階)
(沖縄市社会福祉センターとの複合施設)

TEL(098)937-0170(平日9時~17時)

FAX(098)937-0175

E-mail: a32sankaku@city.okinawa.lg.jp

Kirameki

OKINAWA

男女共同参画に関する講座を 開催してみませんか?

沖縄市男女共同参画センターでは、男女共同参画に関する講座を開催する市内の企業や団体を募集しています。家庭や職場、地域などあらゆる場面に男女共同参画の視点を取り入れて、喜びと責任を分かち合える社会をつくるために一緒に学んでみませんか?

男女共同参画は、人権やワーク・ライフ・バランス、ジェンダー、性教育、DV、ハラスメント、性の多様性など、あらゆる分野があります。社会通念、慣習、しきたりなどから生じる課題について考える場をご提供します。

【募集の詳細について】

- ・開催日時の4か月前までに沖縄市男女共同参画センターにご相談ください。
- ・開催日時や受講者数、講座内容等を聞き取りのうえ、講師紹介、開催場所の提供、講師謝礼金についてご相談に応じます。(※講師謝礼金は、市報償費支払い基準に準じたものとなります)

※必ず男女共同参画に関する内容のものとしします。
※お申込みは市内の団体や企業に限ります。



沖縄市男女共同参画センター ご利用について

沖縄市男女共同参画センターでは、誰もがいきいきと暮らせる男女共同参画社会を目指すために様々な講座や研修、活動等を行う拠点施設です。

沖縄市男女共同参画センターには、会議室や図書コーナーがあります。また、男女共同参画に関する講座も開催しています。



会議室利用について

1. 利用希望される団体は、沖縄市男女共同参画センターにお問い合わせください。
2. 利用日の7日前までに沖縄市男女共同参画センターに利用許可申請書をご提出してください。(利用許可書は、直接同センターにてご記入もしくは沖縄市公式HPからもダウンロードできます。)
3. 「新型コロナウイルス感染症に係る沖縄市施設の貸館業務等実施ガイドライン」及び「沖縄市男女共同参画センター利用に関する新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」に準じてご利用いただけます。

沖縄市男女共同参画センターを利用される皆さまへご協力をお願い

上記記載にもありますように「新型コロナウイルス感染症に係る沖縄市施設の貸館業務等実施ガイドライン」及び「沖縄市男女共同参画センター利用に関する新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」に準じてご利用いただけます。体調のすぐれない方はご利用をお控えください。またマスク着用、検温、消毒など感染症対策へのご協力をお願いします。

「新時代を生きる子どもへの性の伝え方講座」

を開催しました

11月27日(金)午後2～4時・7～9時、講師にKids + Plusキッズプラスキッズ性教育・防犯アドバイザーの徳嶺久絵氏をお招きし、沖縄市男女共同参画センターにて「新時代を生きる子どもへの性の伝え方講座」を開催しました。

若年層の望まぬ妊娠の増加が報じられ今後の増加も懸念されている中、性暴力等のあらゆる暴力の根絶に向けて、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康と権利)の観点から子どもへの性の伝え方とともに女性がしっかりと身を守る正しい方法を学びました。また、毎年11月に行われる女性に対する暴力をなくす運動)期間に合わせて講座を開催しました。

受講者からは「具体的な声かけなど学ぶことができてよかった。」「防犯意識が持てるよう『自分を大切にす教育』の重要性を改めて痛感しました。」などの感想がありました。



「心と呼吸セルフケアメソッド講座」を開催しました

1月29日(金)午後2～3時30分・6～7時30分、講師に心と呼吸セルフケアメソッド代表の山城美優喜氏をお招きし、沖縄市男女共同参画センターにて「心と呼吸セルフケアメソッド講座 ～心と体のバランスを整える心呼吸してみませんか?～」を開催しました。

家族や仕事、育児などの悩みだけでなく他者との距離に少し疲れてきた心と体を、深呼吸によってリラックスできるように、自己のストレスサインに早めに気づきセルフケアができるよう、呼吸法による喜怒哀楽のコントロールを学びました。受講者からは、「日常生活でも呼吸法を活用していきたいと思います。」「自分を見つめる時間を増やしていきたいです。」などの感想がありました。

また、講座開催にともない、大きな反響と多数の応募があり、開催直前には新型コロナウイルスによる緊急事態宣言により講座開始時間を予定時間より前倒しで行うなど、みなさまにご理解・ご協力をいただいたの開催となりました。



開催報告

「沖縄市男女共同参画懇話会」

第16期沖縄市男女共同参画懇話会を1月20日(水)開催しました。議題「第2次沖縄市男女共同参画計画～ひと・きらめきプラン～令和元年度進捗状況について」「令和元年度男女共同参画推進事業経過報告」のほか、女性に対するDV、子どもや障がいのある方への虐待、教育現場の現状など議論が交わされました。



* 沖縄市男女共同参画懇話会とは、沖縄市の男女共同参画の推進に関する事項について、審議及び提言させるため学識経験者や関係団体を代表される者等から構成され設置される機関です。

「周りとちがっても大丈夫! ～LGBT・性の多様性～」

講演会
開催報告

沖縄市男女共同参画推進事業普及・啓発講座にかかる性教育講演会(LGBTを含む性の多様性)を12月3日(木)沖縄県立コザ高等学校定時制にて開催しました。

講師にレインボーハートプロジェクト okinawa 代表の竹内清文氏をお招きし、学校生活の関わりの中でセクシュアル・マイノリティ(性的少数者)の理解をさらに深め、今後の社会生活の中で活かす講話をして頂いたほか、男女共同参画に関する啓発リーフレットや相談窓口カードの配布を行いました。

学生からは、「周りちがっても一人一人違っていいんだなと改めて勉強になりました。」「LGBTへの理解がさらに広がり差別がなくなるといいなと思いました。」など多くの感想がありました。



職員研修を開催しました

2月5日(金)に市役所内で、性の多様性について職員研修を行いました。講師に一般社団法人日本性同一性障害・性別違和と共に生きる人々の会沖縄支部役員の砂川雅氏をお招きし、セクシャルマイノリティ当事者が教育や雇用現場で生きづらい現状の解説や、窓口業務等において当事者へ配慮すべき課題を講話していただきました。



3月8日は国際女性の日です



1904年3月8日にアメリカ・ニューヨークで婦人参政権を求めたデモが起源となり、国連によって1975年3月8日を国際女性の日と制定され、女性への差別撤廃と地位向上を唱える日となっています。

2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットからなる持続可能な開発目標SDGsの中で、目標5「ジェンダー平等を実現しよう」があり、他の目標と不可分であると明記されています。

4月はAV出演強要・JKビジネス等防止月間です

10代から20代の若い女性の身の回りでは、性暴力やストーカー、レイプドラッグ、デートDVなど性的な被害を受ける問題が発生しています。自分や大切な人が被害に遭わないために、できること、知っておくべき必要な情報はしっかり受け取るほか、困った時はひとりで悩まず安心できる相談窓口にご相談ください。



沖縄県 ワーク・ライフ・バランス 認証登録のある 市内企業のご紹介



沖縄県では、労働者個人の生活時間に配慮した働き方や働き方がその持てる能力を最大限に発揮させ、生産性の向上や優秀な人材確保など、企業にとってのメリットが大きいと考え、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)に積極的に取り組む企業を『沖縄県ワーク・ライフ・バランス企業』として認証登録し、積極的にPRしており、その認証登録されている沖縄市内の企業をご紹介します。

(認証番号順に記載)

- ・トランスコスモス株式会社 沖縄本部
- ・有限会社エム・アイ・ジェイ・システム
- ・株式会社仲本工業
- ・有限会社サンサン沖縄

新図書のご紹介



「織細さん」の本

HSP(とても敏感な人) 専門カウンセラーが教える 話題の一冊。

著者：武田友紀
出版：飛鳥新社



ぼくはイエローで ホワイトで、 ちょっとブルー

大人の凝り固まった常識をこども達は軽く飛び越えていく落涙必至のノンフィクションな一冊。

著者：ブレイディみかこ
出版：新潮社



沖縄市女性団体連絡協議会

沖縄市女性団体連絡協議会は、平成3年に結成され、令和2年10月現在、市内11団体が加盟しています。平等・発展・平和の理念の下、会員の資質向上と男女共同参画社会の実現および沖縄市の活性化を図ることを目的に活動しています。

**沖縄市女性団体連絡協議会に加盟している
沖縄市母子保健推進員協議会をご紹介します。**

沖縄市母子保健推進員と一緒に活動しませんか

沖縄市母子保健推進員協議会は沖縄市より依頼を受けて母子保健事業に関する業務に協力しており、各自治会に1～3名の母子保健推進員がいます。

主な活動として

- ・乳幼児健診未受診訪問
- ・乳幼児健診時の身体測定（乳児・1歳6カ月・3歳）
- ・託児協力（離乳食教室・療育支援事業）

昨年度より

- ・若年妊産婦の居場所を提供する事業「ゆるん」にての託児
- ・産前産後サポート事業の憩いの場「ゆいぽっと」にも若い母子保健推進員さん達が中心になって協力しています



その他に自主活動として、平成22年度より毎年市内の保育園にて歌やペープサート等を使った食育劇「三色のまほうってなあに」を上演し大好評でしたが、コロナウイルスの影響で今年度は全て中止になってしまいました。その代わりに市が企画した「マスク作り隊」に参加し、400枚程の手作りマスクを子供たちに提供することができました。現在では感染対策の正しい知識を学び少しずつ活動を再開しています。現在の主な自主活動としては、乳幼児のための「事故予防ミニチュアハウス」（平成10年作成・14年厚生労働大臣賞受賞）の改修に取り組んでおり、次年度における健診会場展示に向け、会員48名で共に活動していくことを目標としています。

私達沖縄市母子保健推進員は、行政と地域のパイプ役を担い、また子育てをしている地域の皆さんの良き相談相手になれる様に勉強を重ねながら日々活動しています。残念ながら現在母子保健推進員が不在の地域がいくつかあります。沖縄市にお住まいで母子保健推進員として活動してみたいという方の連絡をお待ちしています。*会費として年間1,500円を頂いています。

**【連絡先】 沖縄市母子保健推進員協議会事務局
沖縄市こども相談・健康課
TEL 939-1252**

